

MORE 'S' COMPANY
MORESCO

MORESCO
株式会社**MORESCO**

<https://www.moresco.co.jp/>



本社・研究センター 〒650-0047 神戸市中央区港島南町5丁目5-3 Tel 078 303 9010 Fax 078 303 9020
東京支店 〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目8-1 REVZO 虎ノ門8階 Tel 03 6205 7911 Fax 03 6205 7915
大阪支店 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目2-15 Tel 06 6262 3310 Fax 06 6262 3327
名古屋営業所 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目17-13 いちご丸の内ビル11階 Tel 052 950 5115 Fax 052 950 5040
千葉工場 〒290-0045 千葉県市原市五井南海岸12-3 Tel 0436 22 2181 Fax 0436 21 8629
赤穂工場 〒678-0256 兵庫県赤穂市天和641 Tel 0791 42 2100 Fax 0791 43 3179
カスタマーセンター E-mail : customercenter@moresco.co.jp Tel 06 6262 3385



MORE 'S' COMPANY

会社は人なり
風通しのいい社風
より戦略的な研究開発型企業を目指す
常にチャレンジ精神を忘れない
スピード感を持った意思決定

境界領域のスペシャリストとしての基礎を固めつつ、
「持続可能な社会の実現」と「事業の付加価値の向上」の両立を達成するべく、
既存事業および今後の成長が期待できる新事業分野への取り組みを続けていきます。

地球にやさしいオンリーワンを 世界に届ける企業を目指して

1958年当時、輸入品が主力であった特殊潤滑油を国産化すべく、若い研究者たちによって当社の前身である(株)松村石油研究所は設立されました。高真空を実現する高真空ポンプ油、鉄鋼や自動車の製造ラインに不可欠な難燃性作動液、化粧品ほかに使われる安全性の極めて高い流動パラフィンなど、創業期の製品群はその後も改良を続け、現在も国内トップシェアを維持しています。さらに、環境にやさしいホットメルト接着剤の業界に参入するとともに、ニッチな領域の中に時代の先端ニーズをキャッチすることで、ハードディスクドライブの表面潤滑剤など、世界のトップシェア製品を育ててきました。当社は「境界領域のスペシャリスト」を標榜し

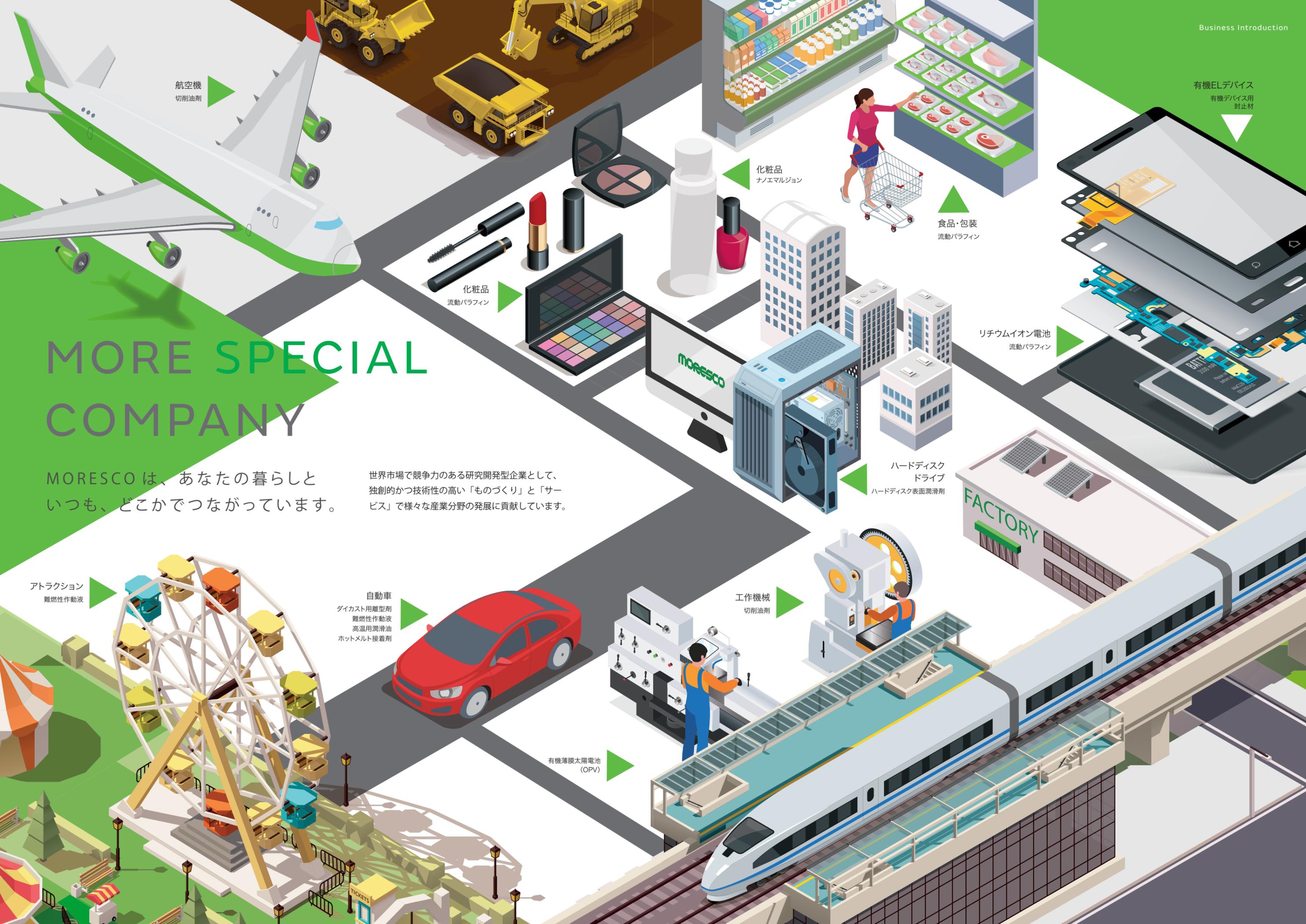
ていますが、それは、モノとモノの接点における摩擦や磨耗を扱う技術を意味していると同時に、異なる技術、異なる市場の間に新たな可能性を見出し、価値を創造していく営みでもあります。現在では有機薄膜太陽電池や有機デバイス用封止材、またそれらの前提となるガス・水蒸気透過度測定装置などのエネルギーデバイス分野や、独自の合成技術を生かしたライフサイエンス分野への展開に取り組んでいます。研究開発型企業として、創業当時から大切にしてきた自由闊達で人間性を尊重する社風は、当社の創造性の源泉です。それがあ限り、当社は地球にやさしいオンリーワンを世界に届ける企業であり続けると確信しています。

MORESCOグループ経営理念

1. 私たちは、「ユーザーのための研究開発」をモットーに、境界領域におけるニーズに応えることによって、社会に貢献できる企業グループを目指します。
2. 私たちは、境界領域のスペシャリストとして、新しい分野へも展開をはかり、新たな機能とサービスを提供します。
3. 私たちは、人間性を尊重する職場づくりと、自由な発想によって、新しい価値を創造する企業グループを目指します。



代表取締役社長 CEO
両角 元寿



航空機
切削油剤

有機ELデバイス
有機デバイス用
封止材

化粧品
ナノエマルジョン

食品・包装
流動パラフィン

化粧品
流動パラフィン

リチウムイオン電池
流動パラフィン

ハードディスク
ドライブ
ハードディスク表面潤滑剤

MORE SPECIAL COMPANY

MORESCOは、あなたの暮らしと
いつも、どこかでつながっています。

世界市場で競争力のある研究開発型企業として、
独創的かつ技術性の高い「ものづくり」と「サー
ビス」で様々な産業分野の発展に貢献しています。

アトラクション
難燃性作動液

自動車
ダイカスト用離型剤
難燃性作動液
高温用潤滑油
ホットメルト接着剤

工作機械
切削油剤

有機薄膜太陽電池
(OPV)

FACTORY

MORE SPECIAL COMPANY MORESCO

自動車

国内シェアNo.1製品を
多数そろえる得意分野

国内トップシェアを誇るダイカスト用離型剤、難燃性作動液、エンジン周りの耐熱性グリース基油は、世界中で生産される自動車部品の製造工程で使用されている製品です。切削油剤、熱間鍛造潤滑剤や自動車内装向けホットメルト接着剤などの製品も、品質と技術対応力で多くのお客さまから支持されています。

AUTOMOBILES

ダイカスト用離型剤

ダイカストとは、溶かした金属を金型に高圧で流し込んで固める鑄造法です。高温の金属と金型との離型に必要なものがダイカスト用離型剤です。アルミニウム自動車部品やマグネシウム部品を鑄造するダイカストマシンで使用され、生産性向上と環境改善に貢献しています。

難燃性作動液

難燃性作動液は鉄鋼や自動車産業などで高温の金属を取り扱う、火災の危険性の高い油圧設備で使用されます。石油系の作動油とは異なり、燃えにくい性質を持つ難燃性作動液は、工場を火災から守り、安全性の確保に貢献しています。

切削油剤

金属部品を切削加工する際に使用するのが切削油剤です。切削油剤の良し悪しが、製品の出来上がりに大きな影響を与えます。また切削油剤には加工時に生じる摩擦を軽減し、工具寿命を延ばす効果もあります。当社製品は一般、難削材および特殊加工用と幅広くラインナップしています。

熱間鍛造潤滑剤

鍛造とは、型と型との間で金属材料に圧縮加工を加え、目的の形状に仕上げる加工法です。熱間鍛造潤滑剤は自動車のエンジン部品や保安部品などの製造に欠かせない潤滑剤であり、高性能製品群で生産性・作業環境を向上させます。

高温用潤滑油

自動車電装品の高温となる軸受けグリースの基油です。OA機器などの軸受けや製パンオープン、乾燥炉駆動部の潤滑油など、過酷な環境下でも使用されています。

ホットメルト接着剤

ホットメルト接着剤は、自動車内装の各部位において、車体と部品とをはり合わせる際に使用されています。様々な異種材料に接着可能な製品を幅広くラインナップしています。環境や人の健康に影響を及ぼす揮発性有機化合物を含みません。

日用品

人の肌に触れるものだから、
安心・安全の高品質を

化粧品分野で使用されているのは、無色透明・無味無臭で安全性の高い流動パラフィンです。人にやさしく、スキンケア・ヘアケア製品、口紅、ベビーオイルに使用されています。また、軟膏クリーム・湿布剤等、医療分野でも使用されています。

溶剤を使用しないホットメルト接着剤は、人の肌に触れても安心・安全な品質。紙おむつやペットシーツの組み立てに使用されています。

SANITARY MATERIALS

流動パラフィン

流動パラフィンは、無色透明、無味無臭で、安全性・保湿性・抗菌性・化学的不活性の高さなどから、化粧品や医薬品の原材料の他、製パン用デバイダー、食品包装、ポリスチレン樹脂等幅広い用途に使用されています。

軟膏・クリーム・ 湿布剤等の化粧品、 医薬品用途

ベビーオイル、ローション、ヘアトリートメント、クレンジングオイル、口紅、ファンデーションなどの化粧品に使用されています。

ホットメルト接着剤

無溶剤で人にやさしいホットメルト接着剤は紙おむつをはじめ、ペット用シーツなど衛生材製品の組み立てや接着に使用します。環境にも影響をおよぼさない安全性から、自動車、建材、空調フィルター、各種ラベル、封筒口糊など幅広い用途でも使用されています。

衛生品用途

紙おむつ、ペットシート、生理用ナプキンなどの組み立て、ズレ止めテープ用などに使用されています。

粘着加工用途

ラベル、宅配伝票、テープ、捕虫、粘着クリーナー、封筒類の口糊などに使用されています。

情報機器

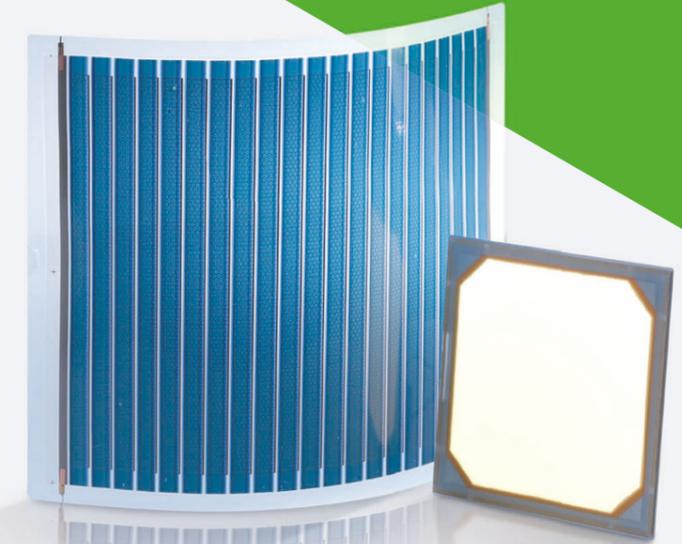
世界のオンリーワン製品など
あらゆる工程で多彩に活躍

成型、潤滑、保護、シール、固定、脱気など、MORESCOの製品の役割は多彩です。例えばパソコンなら、筐体の成型にはダイカスト用離型剤、半導体製造工程では高真空ポンプ油、ハードディスクドライブにはモーター軸受油や世界のオンリーワン製品であるハードディスク表面潤滑剤など、製造工程から最終製品まで様々なところでMORESCO製品が活躍しています。

エネルギーデバイス

得意技術を生かした、
次世代を担う製品づくり

MORESCOが得意とする技術は有機合成、配合設計、高分子材料の変性などです。これらの技術をハイブリッドし、今後成長が期待できる有機EL(有機エレクトロルミネッセンス)や有機薄膜太陽電池(OPV)分野に積極的に進出していきます。当社の次世代を担う製品として、事業を拡大しています。



INFORMATION DEVICE

ENERGY



流動パラフィン

流動パラフィンは不飽和成分や不純物を徹底的に除去した高純度で、化学的に安定した非極性飽和炭化水素です。その特性からリチウムイオンバッテリーのセパレーター膜を製造する際に使用されています。



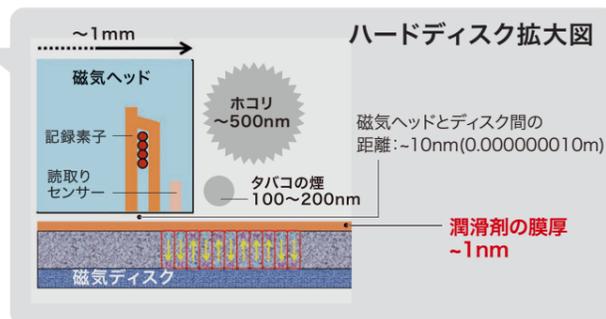
高真空ポンプ油

信頼性の高さから多くの真空ポンプメーカーより推奨を受け、半導体やシリコンウエハ、蒸着、熱処理、包装などの真空装置や超高真空が必要な理化学機器用などに使用され、生産性向上に貢献しています。



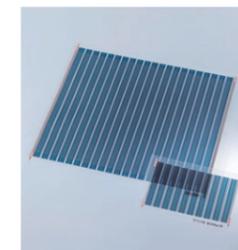
ハードディスク表面潤滑剤

パソコン等に内蔵されているハードディスク装置の磁気ディスクと磁気ヘッドの隙間を潤滑する、特殊な潤滑剤です。ディスクに記録された情報をナノレベルの薄膜で保護し、ハードディスクドライブの信頼性向上に貢献しています。



有機デバイス用封止材

有機ELデバイスは、微量な水分が内部に浸入すると有機EL素子が劣化し、発光しなくなるなどの欠点があります。封止材「モイスターカット」は、そんな外部からの水分の浸入を防ぎ、有機ELデバイスの長寿命化に貢献します。ホットメルト接着剤で培った高分子変性技術や配合技術を活用し、用途に応じた封止材開発を推進しています。



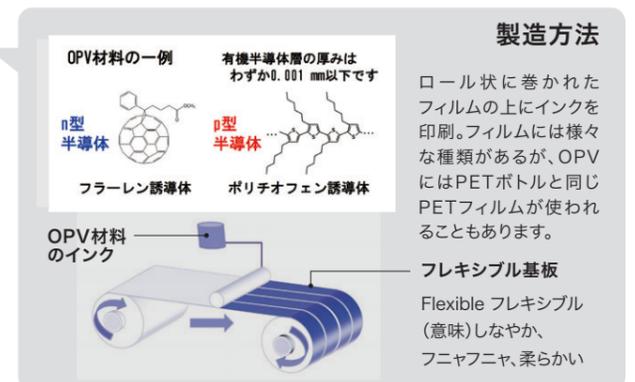
有機薄膜太陽電池(OPV)

極薄の有機材料を発電層に持つ有機薄膜太陽電池は、軽くて曲げられるため、設置に補強の必要がなく、各種設置場所を想定できるのが大きな特長です。色が選べるため、デザイン性も付与でき、両面受光、低照度光による発電も可能な他、封止材により、長寿命化を図っています。



ガス・水蒸気透過度測定装置

サッカースタジアムに一滴の水を落とした量に相当する超微量の透過水分が測定可能な装置です。この装置は世界最高水準の超高度測定、短時間測定を実現しています。また、産業技術総合研究所が開発した校正器を搭載し、信頼性の高い測定結果が得られます。



MORE STRATEGIC COMPANY MORESCO

研究開発紹介

新たな分野への挑戦、
それは研究者の想像力から。

境界領域のスペシャリストとして様々な製品を世界に発信してきたMORESCOは、さらにライフサイエンス分野へとその技術領域を拡大しています。研究開発型企業として発足したスピリットを継承し、トップダウンだけでなく研究者の創意と自発性を尊重して、多様な技術の種を、じっくりと大きく育てていきます。



ナノエマルジョン 技術開発

機能性成分の
高い浸透性を実現

ナノエマルジョンは、機能性成分を内包する乳粒子(極小カプセル)が水に分散しているものです。MORESCOのナノエマルジョンは、10nmとサイズが極めて小さく、透明で、浸透力が高いことが特徴です。様々な機能性成分をナノエマルジョン化することで、少量でより効率的な浸透が可能となり、機能向上や省資源に役立ちます。現在、化粧品での実用化に向け量産検討を進めています。



Research
and
Develop
ment

ナノエマルジョンを利用した 自社製品の開発

ナノエマルジョンを配合した化粧水、
美容液の開発

ナノエマルジョンの皮膚浸透性の特性を活かし皮膚のエイジングサインに注目した自社ブランド化粧品の開発に取り組んでいます。一般消費者の方にも、ナノエマルジョン配合の化粧品をお試しいただき生の声を反映した製品改良を進め、主な販売先となる化粧品メーカーへの訴求力を高めていきます。



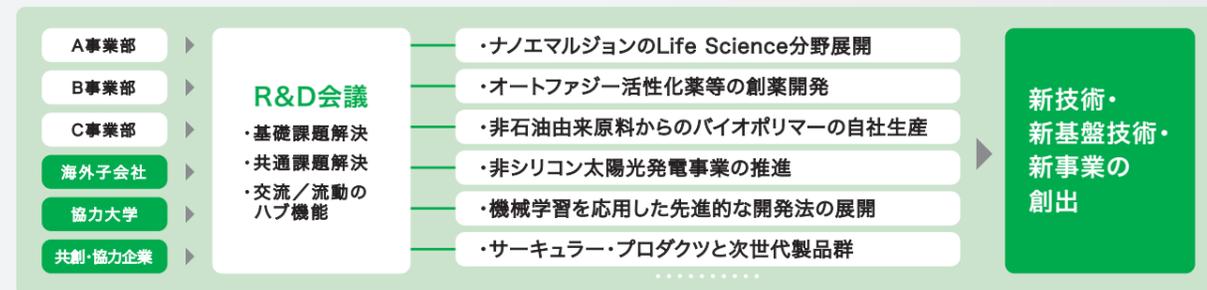
オートファジー活性化薬

オートファジーを制御し健康寿命の増進に貢献

オートファジーは生活習慣病や老化に関する様々な現象、疾患に関与することが分かり、近年大きな注目を集めています。オートファジーとは細胞内の不要タンパク質や病原性細菌などを分解して再利用する作用です。MORESCOは、ヒトのオートファジーの最先端研究機関である大阪大学大学院(医学)と、オートファジーを制御する新規化合物の創薬研究を進めています。高齢化が進む社会においてこの活動を通して社会に広く貢献していきます。



次世代事業の創出 - コーポレート研究開発体制 (MOLGADCプロジェクト)



研究開発部門の存在意義(パーパス)「人と地球をかがく力で元気にする」 の実現のため、発想を大きく転換させ、より良き世界のための 次世代事業の推進が可能な人材を育成し、新テーマを創出します。

世界で求められる課題解決のために次世代事業の創出が必要です。そのためには、右翼の事業部研究開発と左翼のコーポレート研究開発の両翼で羽ばたき前進する両利きの研究開発という開発戦略を推進します。開発戦略実現のために、発想力・解決力を強化させる体制を構築。同時に、高度な経験と見識をもつ開発人材

を育て、開発戦略と人材戦略を加速させます。そのような研究開発体制のもと生まれる独自の技術や製品で、環境にやさしく機能にすぐれた高付加価値製品の開発を通して、世界に貢献できるMORESCOへと成長していきます。



グローバル人材の育成を通じて、世界のMORESCOへ。

MORESCOの世界戦略は、最適な地域で生産し、最適な販売網で拡販していくことです。そのためには、日本から現地に向いたスタッフは徹底的に相手に寄り添い、時間をかけてMORESCOの企業文化をその地に浸透させていきます。それがMORESCOらしい人材育成です。こうしたグローバル人材の育成を通じて、各地域との一体感が生まれ、世界のMORESCOへと発展していくことを目指しています。

MORE SPEEDY COMPANY MORESCO

グローバルに思考し、地域に密着して活動する。

当社の海外展開は、1995年、MORESCO THAILANDの設立に始まります。阪神大震災により当社が被災した大変な時期ではありましたが、自動車産業をはじめとする国内の主要産業が生産拠点を海外にシフトしていく動きの中で、当社もまた需要のあるところで生産、販売していくことが必要との判断からでした。その後、中国、北米、インドネシアに次々と拠点を拡大し、2017年

にはインドにMORESCO HM&LUB INDIAを設立。グローバルな製造・販売体制を確立しています。北米の拠点は、「第2のMORESCOジャパン」として、研究開発を含めたトータルな事業体を目指しており、中国やインドは今後の成長を牽引するエンジンです。世界を俯瞰する戦略的な視点を持ちつつ、それぞれの地域に根を張っていく。それが、MORESCOのグローバル戦略です。



これからも
グローバルな視野で
企業価値を高めたい

グループ会社

北米

研究開発体制を整え多角的に展開

製品の改良、開発、顧客サービスの体制を充実。MORESCO全体の事業をアメリカ市場に落とし込み、多角的に展開していきます。



MORESCO USA Inc.



CROSS TECHNOLOGIES N.A. INC.

中国

ローカルネットワークの強化でさらなる成長

現地販売ネットワークを整備し、日系企業にとどまらず、欧米系や中国系企業への販売を強化。また、現地での開発力を強化し、地域密着の製品開発と顧客サービスに努めています。



莫莱斯柯贸易(浙江)有限公司



莫莱斯柯(浙江)功能材料有限公司



天津莫莱斯柯科技有限公司

タイ

収益基盤の強化

自動車関連分野を中心に潤滑油事業を展開。収益基盤の強化に加え、日系顧客のサポートのため受託製造を推進します。



MORESCO (THAILAND) CO., LTD.

インドネシア

自動車関連と衛生材料分野で事業展開

自動車関連分野とともに衛生材料向けのホットメルト接着剤に注力。高い経済成長の中でさらにシェアアップを図ります。



PT.MORESCO INDONESIA



PT.MORESCO MACRO ADHESIVE

インド

成長市場で現地生産・販売を開始

中国・米国・東南アジアの海外拠点に続く生産・販売拠点を設立。今後さらなる成長が見込まれるインド市場におけるホットメルト接着剤事業および潤滑油事業の展開をさらに進めています。



MORESCO HM & LUB INDIA PRIVATE LIMITED

MORE STRONG COMPANY MORESCO

mother factory

赤穂 35,000m²

赤穂工場は1986年に操業を開始し、2008年にはホットメルトの生産方式の見直しと、フルオートメーション化から生産量・効率共に倍増しました。近年では自動開袋機の導入や一部のラインでバーコードによる在庫管理を実現。また新倉庫が完成し製品の保管管理を同敷地内で一括管理しています。今後は培った生産技術のノウハウを海外へと水平展開し、世界規模での生産力・品質の向上を高め、世界のマザー工場として牽引する役割を担います。



赤穂工場の主な製品

ホットメルト接着剤・難燃性作動液・ダイカスト用離型剤・切削油剤・高真空ポンプ油・高温用潤滑油

ホットメルト接着剤

ホットメルトは高温で溶かし混ぜ合わせた後、冷水中に押し出してピロー(枕)の形に成型します。成型したピローを冷水プールで冷やして固定し、異物や汚れ、形状チェック等を目視検査しています。



千葉工場の主な製品

流動パラフィン・石油スルホネート



石油スルホネート

ベースオイル(石油の潤滑油留分)をスルホン化し精製することで、流動パラフィンと石油スルホネートが得られます。石油スルホネートは界面活性剤として、金属面に付着し、腐食環境から保護できる等、防錆効果があります。



千葉 25,000m²

千葉工場は、流動パラフィンおよび石油スルホネートを生産する工場として1966年に試運転を開始、1990年にプロセスコンピューターを、2009年にはアメリカからスルホン化反応装置を導入しました。近年では環境へ配慮した天然ガスの蒸気ボイラを設置。また、タンクローリーの出荷場を増設し生産量増加へスムーズに対応。2016年には生物処理を行う廃液濃縮装置を新たに導入し、廃液処理コストの削減を図っています。常に合理化への改善を重ねることで、会社の一翼を担う工場へと成長し続けています。

【消防訓練】

避難訓練・消火訓練・AEDによる心肺蘇生訓練、近隣海域の油流出事故に備えた油回収訓練、緊急招集訓練なども実施。食料・備品の備蓄や従業員への教育も継続的に行っています。



【QCサークル】(千葉・赤穂)

課を超えたメンバー同士が集まり、課題発見→解決→達成に取り組んでいます。テーマは、身近な問題から職場の方針に直結したものまで様々です。



【五井共同防災協議会】

周辺企業で組織する「五井共同防災協議会」に加盟し、災害発生に備えています。出動要請があれば直ちに駆け付ける体制をとっています。



【工場周辺美化】

千葉工場では毎月第3水曜日に工場周辺の清掃活動を行っています。これからも継続して、地域の美化や環境負荷軽減に貢献していきます。



国内事業拠点



東京支店

工業用、日用品向けなどに用いられる各種製品の営業、貿易関係の業務、サポート担当の拠点です。主に東日本から北日本を担当しています。



大阪支店

工業用、日用品向けなどに用いられる各種製品の原材料の購買、サポート担当の拠点です。主に西から九州まで、西日本を担当しています。



名古屋営業所

主に自動車向けや航空機向けなどに用いられる潤滑油の営業、サポート担当の拠点です。中日本を中心に担当しています。

主要子会社



株式会社マツケン

MORESCOグループの水処理装置・水処理薬剤、洗浄機・洗浄剤を中心に環境関連商品全般を取り扱っています。



株式会社モレスコテクノ

潤滑油一般の分析、管理試験、有害物質の分析等、ユーザーの環境保全に貢献する分析サービスを行っています。



エチレンケミカル株式会社

自動車用ケミカル製品およびナイブライン(冷熱媒体)の製造、販売を行っています。

MORE SENSIBLE COMPANY MORESCO

【地球環境保護への取り組み】

化学メーカーとしての技術力を 環境負荷の低減に向けて。

私たちは次の世代のよりよい環境に対する責務を負っていることを厳しく認識し、研究開発、製造をはじめとする各活動において環境保全の維持向上に努めます。また、「ユーザーのための研究開発」を信条とし、環境に配慮した製品・サービスの提供に努めます。

次世代に繋がる
化学メーカーの
環境づくりを目指す

【品質への取り組み】

お客さまと社会へ安心・安全を 届ける企業であるために。

品質・環境方針にもとづく品質保証活動により、お客さまにご満足いただける製品をお届けします。全員で考え全員で行動する品質保証体制を築き、高品質を実現します。

平常時からリスクの低減と
未然防止に努め
品質向上を図ります

■ダイカスト用油剤の少量塗布技術による省資源と生産効率化

ダイカストの製造工程では、金型から製品を取り外しやすくするために、離型剤を塗布します。一般的には数十倍から数百倍に希釈して使用されますが、MORESCOでは最適量を塗布できる水溶性少量塗布型離型剤を開発、商品化しています。塗布量は約1/100、ダイカストマシンから垂れ落ちる廃液はほぼゼロ。捨て打ち回数も約30%削減できます。金型のヒートクラックを防ぎ、金型寿命が約2倍に伸びた例も確認されています。製造工程に投入される資源を削減するとともに、生産の効率化に寄与して環境に貢献する技術です。



少量塗布技術により油煙も発生せずベタつきや汚れなどの工場環境を改善

■大気汚染やシックハウス症候群を防ぐ、ホットメルト接着剤の技術

接着剤や壁紙、塗料などに含まれるVOC (Volatile Organic Compounds=揮発性有機化合物)は、光化学スモッグや大気汚染の原因物質のひとつであり、屋内や車内ではシックハウス症候群を引き起こす危険があります。有機溶剤を使用しないホットメルト接着剤は、環境にやさしい接着剤です。現在では、有機溶剤を使用しないホットメルト接着剤に含まれる、材料合成時の残存溶剤(0.1%未満)さえも除去する技術を追求するとともに、接着剤特有の臭気を除去する技術の開発に注力しています。環境汚染や健康被害を防ぐのはもちろん、人にとって快適な空間を創造することも、重要な環境貢献と考えています。



■UF膜装置による廃水処理で、排水から処理水のリユースへ

UF膜処理とは、従来の廃水処理剤を使用した化学的処理ではなく、微細な孔を有す膜(UF膜)を用いて油分等の廃水成分と水とを分離・濾過する物理的な処理方式です。必要なエネルギーは基本的に廃水を膜に送るポンプの電力のみのため省エネ性に優れています。また、全自動運転の装置であり、廃水の濃度変動による調整や薬剤の管理も不要であることから、工場における省人化が実現できます。環境負荷低減だけでなく、人的負荷低減の効果もあり、現代社会の人手不足問題の改善にも大きく貢献しています。更なる高度処理として、より微細な穴を有すRO膜との組合せで、処理水の品質を高め、水のリユース(省水化)ができるシステムも提案します。



■ユーザーのため、社会のための製品化システム

市場がどんな製品を求めているか、社会に必要なとされ、貢献できる製品には何が必要か。これらの社会的要求を実現するために、MORESCOでは製品の企画・開発・生産の過程でデザインレビュー(DR)を行っています。DRは5段階のステップで、開発着手の段階から設計評価、試用評価、市場評価とステップを踏んで進め、それぞれのステップでフィードバックを繰り返します。このような検証の過程を経ることで、顧客ニーズにマッチした性能と高い信頼性を備えた製品を生み出し、またこれらの製品を通して社会に貢献していくことが、当社の存在意義と考えています。



■風通しのいい組織によって品質意識を高く保つ

近年、国内で産地偽装や品質管理データの改竄など、品質保証における問題が頻発し、企業のものづくりに対する姿勢が問われています。また一方で、グローバルで地球温暖化や環境汚染などの環境問題が深刻化しており、化学物質に対する法規制の厳格化が急速に進んでいます。MORESCOでは2018年度から、品質保証部に品質保証課と化学品法規制課を設置し、各々の推進体制を強化しました。品質保証課では、開発部門や各工場の製造部門、品質管理部門との連携をさらに強固にし、より確実な品質保証活動を推進しています。化学品法規制課では、頻繁に改正される国内外の法規制情報を確実に収集し、世界規模で変化する環境や法規制に対して、社内関係部署と協力し、確実な対応を行っています。MORESCOの社員一人ひとりが高い意識を持ち、これらの品質保証活動を通して、お客さまと社会へ安心・安全をお届けします。



MORE SMILE COMPANY MORESCO

【社員への取り組み】

個々の能力を引き出し、高めあう 多様な人材、多様な働き方。

自己実現、調和、発展、積極性、国際感覚をキーワードに、社員一人ひとりのビジネススキルを向上させ、個性が発揮できるようにすることで、最終的に社員の満足度を向上させます。

一人ひとりの個性を
発揮して、
誰もが働きやすい
環境づくりを目指す



【社会への取り組み】

独自の技術を活かした 未来に繋げる社会活動。

MORESCOは世界市場で競争力のある、研究開発型企業として独創的かつ技術性の高い「ものづくり」と「サービス」を開発、提供することにより社会の発展に貢献します。

MORESCOだからできる
社会貢献の姿に
社員一人ひとりが
向き合い、解決する



■MORESCO流 働き方改革

MORESCOは社員がお互いの置かれている立場を理解し合い、豊かな気持ちで仕事ができる職場環境づくりに努めており、フレックスタイム制度、副業の自由化促進、育児休暇制度、有給休暇取得の奨励等多様な働き方を選択できる制度の充実を図ってきました。今後は、DXを活用しITを取り入れた環境整備の改善やRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)による労働生産性の向上、定年再雇用制度の充実等社員がやりがいを感じながら活躍できる職場づくりを推進していきます。社員が笑顔になれる、そのための改革を当社は進めています。



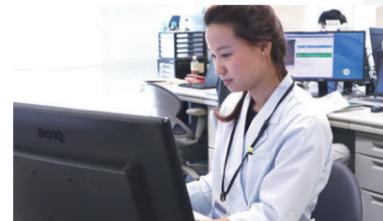
■公平・公正な評価と教育制度

社員一人ひとりが、何を目標として働いているのか、どのような将来ビジョンを描いているのか。その目標を共有し、実現を支援していくのは企業としての社員への責任と考えています。当社は、人事部によるヒアリングや自己申告制度、社内セミナー、キャリア研修を通じて、それぞれの自己実現をサポートしています。語学学習や資格取得などに対する補助も充実しており、これらを利用して多くの社員がスキルアップを図っています。多様な働き方の中でキャリアを積んでいくことができるのも、当社の人事の特長です。



■一人ひとりの違いを尊重する ダイバーシティ経営

多様な個性とバックグラウンドをもった人がいて、それぞれの良さを積極的に引き出していくことが、企業としての力になる…私たちは、そう考えます。産休・育休・育児時短などを整備し、休暇を取得した人が復帰するときには、基本的にもとの部署に戻ってもらい、キャリアの継続性を維持し、その人が培ってきた知識や経験が活かせるよう配慮しています。外国人の登用にも積極的に取り組んでいます。そんな多様性が、組織のコミュニケーションの活性化と、強いチームの形成に貢献しています。



■福祉車両

社会貢献活動の一環として、2014年より毎年本社・研究センターのある神戸市、赤穂工場のある赤穂市、千葉工場のある市原市に福祉車両を寄贈しています。寄贈した車両は、お年寄りの家庭訪問や老人ホームへの訪問、障がいをお持ちの方の施設への送迎などに活用され、地域福祉のより一層の発展に寄与しています。

■四川大学“MORESCO”奨学金

四川大学の教育事業の発展を支援するために2013年11月に設立された、四川大学“MORESCO”奨学金。毎年MORESCOグループから寄付をし、四川大学の化学学院に正式に登録された全日制の本科生・研究員を対象にして授与される奨学金です。四川大学にて奨学金の授賞式典が盛大に開催され、授賞された学生から感謝の言葉を多くいただいています。

■有機薄膜太陽電池の設置

有機薄膜太陽電池(OPV)が「南三陸さんさん商店街」に設置されました。ナノテクノロジーでつくったOPVは、シースルーで高いデザイン性や、製造から廃棄まで一貫してエコであること、また、超薄・軽量のフィルムタイプであることなど、これまでのシリコン太陽電池とは全く異なる次世代太陽電池。電子ペーパーやセンサーの電源の他、建築物の窓やビニールハウスに設置するなど、様々な用途が期待できます。今後は、OPVをより多くの用途に拡大し、さらなる社会貢献に取り組んでいきます。



■水-グリコール系作動液の リサイクル

水-グリコール系作動液はきわめて安全性の高い難燃性作動液ですが、時間の経過とともに性能が劣化します。従来、劣化した水-グリコール系作動液は産廃処理を行う必要があり、焼却処分による環境負荷が問題になっていました。作動液中の20%を占める劣化した添加剤だけを抽出して、残りのきれいな水-グリコール成分をリサイクルする技術を開発。これによって廃棄物を大幅に減らし、環境への負荷軽減を実現、社会貢献に取り組んでいます。

